



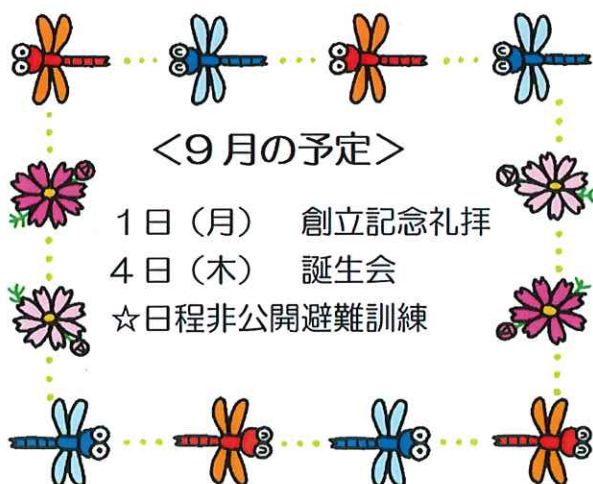
賀川豊彦と光の園保育学校

光の園保育学校は1928年（昭和3年）9月6日に本所基督教産業青年会により、現在の場所に開校されました。今年で97周年（98年目）になる保育園です。戦災ですべてのものが消失した中で、保母3人で始まったようです。そしてその出発点はさらに数年さかのぼり、関東大震災（1923）直後に、安田庭園跡に賀川豊彦によって設置され「光の園」と命名された託児所がはじまりです。賀川は保育所が単なる社会事業施設にとどまらず、地域の文化向上と教育を目指して運営されるようお願い、現在の雲柱社に引き継がれています。また、この理念は光の園を「保育園」ではなく「保育学校」としたことにも現れています。

さて、今回この巻頭言を担当するにあたり、光の園保育学校の記念誌（創立70周年、創立80周年）を改めて読み返してみました。今でも光の園の自慢の一つは「砂の園庭」ですが、70周年誌でも砂の園庭について触れており、「光の園保育学校では自然との関わりを大切にした保育をしています」「太陽の下で砂と水があると自然に泥んこあそびが始まります」「砂と水の気持ちよい感触を楽しむことは子どもの心を和らげていくのでしょうか。改めて環境の大切さを感じます」と記されていました。時代と共に変わるもの、変わらざるを得ないものがありますが、こうして揺るがずにずっと残り続ける「大切にしたいこと・思い」は令和の時代に働く光の園保育学校の職員にもしっかり受け継がれているんだな、と改めて知るところとなりました。雲柱社職員として賀川の残した理念には何かと触れる機会が多いですが、記念誌を通して今まであまり知ることのなかった光の園保育学校の保育を作ってきた30~40年前の職員の思いを知り、今まで以上に光の園という場所が自分にとって大切な場所になった気がします。

齊当 知江

「子どもたちを来させなさい。私のところに来るのを妨げてはならない」マタイによる福音書 19章13節



<9月の予定>

1日（月） 創立記念礼拝
4日（木） 誕生会
☆日程非公開避難訓練

〈署名とカンパのお願い〉

毎年「子どものよりよい育ちと子育て支援の充実、保育園や認定子ども園の保育をよりよくするための要望」の署名を、全国私立保育園連盟を通して内閣総理大臣宛に提出しています。

内容をよく読んで署名とカンパのご協力をよろしくお願いします。〆切9月30日（火）

9/21（日）～9/30（火）秋の全国交通安全運動
これからの季節、特に夕方の交通安全にも気を付けていきましょう。



もも組&さくら組
(1歳児)

毎日暑い日が続いていますが、こんな時こそ室内で楽しく！子どもたちは毎日こんなことをしてあそんでいます。そんなあそびの様子をいくつか紹介します。

〈つめた〜い〉

ジップロックに入れた氷をタライの水に入れると、初めは冷たくて触れなかった子どもも、氷が溶けてくるとそこから本格的に、氷、水遊びがスタートします。袋を開けて溶けた水を出したり入れたり、溶けかかった氷や冷たい水が入った袋を頬に当てたり、頭にかけたりして子どもたちなりの「涼」を味わっています。



〈ヨイショ、ヨイショ〉

はしごや板を組み合わせて、色々な形に変化します。足の裏をしっかりと使って登ったり滑ったりすることで身体の使い方を覚え、転びにくい身体作りを目指します。時には台の穴の中から「ばあ」と顔を出してニッコリなんてことも。



〈パズル〉

2ピースから6ピースくらいのパズルに夢中です。完成すると「できた」と再びバラバラにして再挑戦しています。たまに隣の友だちのピースが混ざってしまい「できない!」と、必死にはめようと格闘しています（笑）



〈小麦粉粘土〉

小麦粉、塩、油、水を混ぜると小麦粉粘土が完成します！初めての感触に、指でツンツンして様子を見る子どももいれば、ダイナミックに叩いて伸ばして小さくちぎって…まるで職人! ?のような子どもも。うどん屋さんになりきって手のひらで細く伸ばしてみたり、指に粘土を巻き付け指輪にしてみたり、大好きなア○パンマンや恐竜をイメージして製作をしたりと子どもたちがイメージを表現してあそんでいる姿が見られます！ご家庭にある材料で作れるので、ぜひお子さまと一緒にやってみて下さいね♪



たんぽぽ・すみれ
(2歳児)

夏に美味しいアイスクリームにかき氷！イメージを膨らませながら今日も美味しい物作りに夢中。たくさんまぜたらどのようなになるのか？と変化を楽しんだり、この色美味しそう～と落ちる水をじっと見たりしながら、観察力・集中力・指先の操作がぐんぐん育っています。ぜひお家でも一緒に楽しんでみてください!!

＊用意するもの ＊遊び方 ＊ポイント

どちらのあそびも食紅で色を付けるとイメージアップ！

あわあわあわ

＊泡立て器、ボール、固形石鹸、おろし器

＊ボールにおろした石鹸と水を入れて泡立て器でクルクル

＊石鹸&水の量+クルクル回数で泡の具合を調整

Aさんのあわあそび

アイスクリームを作りたいくて必死に混ぜます！隣のお友だちの出来具合をチラリと見ては『私ももっと』とさらに力強く！そして時々泡の感じをチェック☆



よいしょ よいしょ

もう少しかな～

いっぱい
入れたら
どうかな？



スポイトすくい

＊スポイト・カップ2つ

＊スポイトで水をすくいもう一つのカップへうつす

＊力の入れ方ですくう量が変化

Tさんのスポイトあそび

たくさんすくうぞ！！思い切り掴んだら水泡が・・・『あれれ？』次は優しくそっと掴んで見たらいっぱいスポイトにお水が入った。それをこっこの色水に入れてみたら、色が変わった☆



そ～っと
そ～っと



キラキラして
いておいしそう
「あーん」

8月に新しく、5名のお友だちがつばみぐみに仲間入りしました。少しずつ つばみぐみにも慣れ、安心してできる環境になってきていることを感じます。まだまだ暑い季節!これからが本番?! 子どもたちと涼しさを求め! いさ! 寒天あそびへ Let's go! 寒天を目の前に、久しぶりに寒天あそびをしたAさんは指で「ツツツ」と寒天を触って慎重な様子。Bさんは、お隣のAさんに少しずつ寒天をおすそ分けしていました。(初)寒天あそびのCさんは、保育者が持っている寒天を見て大きな口を開けて「あーん!」食べるふりをしていました。保育者が寒天を割って見せたリトントンと指全体で「触る様子を見て、わたしも〜」と言うように小さな手全体を使って、ぺちぺちとかわいいリズムを刻んでいました。少しずつお友だちとの関わりを楽しむことが出来てきている様子や初めての感触に目を輝やかせていました。ひんやり・キラキラ・ぷるんときもちいとは、ひと味違う涼しさを感じている子どもたちです。

今月は、3名のお友だちが入園しついに12名に!
まだまだ、暑い日が続きますが、12名の子どもたちと一緒に涼しいあそびを楽しんでいきたいと思ひます。

ちゅうりっぷ組 (3歳児)

ここはお部屋…!?

今年は猛暑の影響で、プールもどろんこもできず、室内で過ごさなければならぬ日々でした。室内でも全力であそぼう!と心に決めた保育者。スライムや色水など、夏らしい涼し気なあそびをしていたのですが、「水遊びした〜い」と子どもたちの声から、室内だけけれど水遊びをすることに…! タライに水を入れて移してあそんだり、壁に的をつけて水鉄砲であそんだり、それはそれは盛り上がりを見せ、室内は水浸しになりました。子どもたちと一緒に雑巾で拭いて、床もピカピカになったような気がします(笑) その室内水遊びを皮切りに、小麦粉、ボティペイント、そして鉄棒までも、室内ですが全力であそんでいます。

外に出られない、プールができないという気持ちで始まった猛暑。子どもたちと日々全力であそぶことにより、室内も楽しい!と思えるようになりました。そして、毎日室内でのあそびが継続していったことにより、子どもたちも身体の使い方がしなやかになったり、新しい友だちとの関係が深まっていったりと、成長する姿が見られました。室内で頑張らなくちゃと、気張っていたのは保育者だけのようです(笑) 室内だからこそできるあそびと、室内でもできるあそびを、厳しい残暑も一緒に楽しみたいです。…でも外も行きたい!

ばら組 (4歳児)



箸、始動!

ばら組になって5ヵ月、いよいよ保育園の食事でも箸を使い始めました。初めは8月の半ば、白米のメニューの日でした。調理室に用意してもらった箸を見せ「お箸で食べてみたい人〜?」と尋ねると、元気よく「はい!」「はい!」「はい!!」と答えた子が半数ぐらい。「お箸はまだちょっと自信ない人?」と尋ねると、自信たっぷりに「はい!!」…「まだ使ったことがないの」「ちゃんと持てないんだよー」と、無理をしない子が半数でした☆ よく箸あそびをしていた子たちはさすがに使い慣れていて、正しい持ち方も身に付いています。使いたい気持ちはあるけれど、いざ使ってみると両手に1本ずつの箸で突き刺したり、トングのように挟んだり、握り箸やクロス箸になったりする子も多くいました。無理に箸で食べておかしい持ち方の癖が付くよりも、今はいっぱい箸あそびをしたり、スプーンやフォークを主で使う食事に戻したりする中で、どんどん使い方をおぼえて身に付けてほしいと願っています★ 保育園の食事では、いまのところ、白米や混ぜご飯などお茶碗でご飯を食べる日に箸を用意してもらっているで週に2〜3回程度は箸の日があります。楽しみながら、他の子の箸の様子に刺激を受けながら、みんなで使えるようになりたいです!



ゆり組
(5歳児)

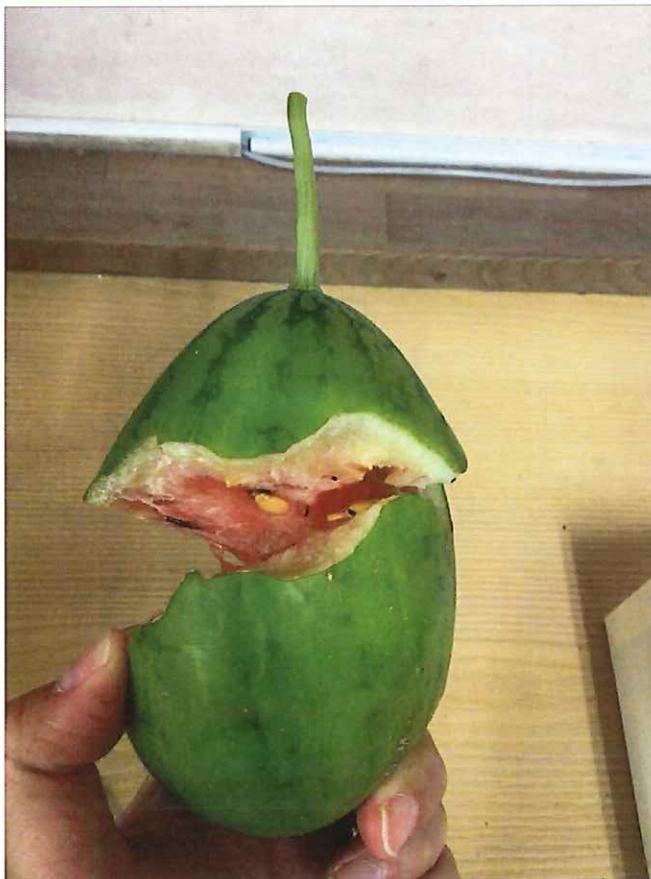


スイカ栽培成功への軌跡

～ゆり組、情熱のスイカ物語 完結編～



「できたスイカをみんなで食べたい!」と決意を持って始めた小玉スイカの栽培。朝と夕方、毎日心を込めて水あげて3ヶ月、ついにスイカの実がなりました!気付いたAさんは「みんな!すいかができるよ。こんくらいのが!」と大喜びで友だちに伝え、みんなでテラスに出てみました。「ちゃんとできてるじゃん!」「みんながまいにち みずやりがんばったからだよね!」などと、お互いに共感し合う会話がたくさん聞かれました。ですが休み明けの朝、プランターを見に行くとスイカがらせん状に割れていて、Bさんが「スイカがグルグルにわれてる。」と言、続けてCさんも「どうしてわれちゃったんだろう?」と心配そうにしていました。そこで保育者と一緒に割れた原因を調べたところ、スイカの水分量が多く薄皮を破ってしまったそうです。みんなに説明すると少し肩を落とす場面もありましたがDさんが「でもさ ばらぐみさんのときは ならなかったけど ちゃんとそだったから だいせいこうじゃん!」と力強い一言に子どもたちも「そうだよね!だいせいこうだよ!」と互いの気持ちを高め合い、称え合う姿がありました。それはゆり組としての立派な姿勢と誇りを感じた瞬間でした。



◎大きさは約 10 cm～12 cm
とってもかわいい手の平
サイズの小玉スイカです。
写真では分かりづらいですが、
らせん状に割れています。

◎小さいですが、ちゃんと
スイカの香りがしました!
もちろん、種もできていま
したよ!

汗をかく時期に保湿剤は不要だというイメージはありませんか。洗って清潔にしたら肌を乾燥させたほうが良いような気がしますが、実はあせもには保湿剤が有効です。むしろ肌を乾燥させたままにしていると肌のバリア機能が低下するため汗にかぶれて痒みが出たり、汗腺が塞がって湿疹が出たりします。さらにあせもを掻くと傷ついた部分から感染をおこしてとびひに移行することもあります。あせもを予防したり早く治すためには、第一に汗を拭いたり洗ったりして清潔を保つこと、その上で乾燥肌にならないよう保湿をすることです。



9月は防災月間



今年も大雨や台風、地震などさまざまな災害が発生しています。自然災害はいつおこるのかわかりません。万が一のために日頃から備えておきましょう。

飲料水や食料は家族が3日間過ごせる量を用意しましょう。

電気・水道などのライフラインが被害にあった場合、復旧するまで3日程度かかると言われています。ライフラインが使えない状態でも食べられる食品を選びましょう。

- ・飲料水→1人あたり1日に大人は3L、子どもは2Lが必要になります。

暑い時期や空気が乾燥する時期などは飲料水が増えることがあるので、多めに用意しましょう。

- ・食料→避難時の食事は、たんぱく質が不足して塩分を摂りすぎになってしまう傾向があります。

栄養の偏りや食べ飽きがないように選びましょう。

(アルファ米・ホットケーキミックス粉・レトルト食品・缶詰・乾物・ふりかけ等)

- ・食品以外に備えておくと便利なもの→カセットコンロ・ラップ

非常食はローリングストック法で備えておくと便利です！

小学生と交流しました

8月中は、小学生5、6年生のボランティアが延9人光の園に来てくれました。2～5歳の各クラスで受け入れ、(子どもたちもお兄さんお姉さんも)楽しく交流できました。

小学校の冬休みなど、また機会を設けていきたいと考えています。



今月のやまびこは
ありませんでした。



おひさま文庫

最強のネタ、それは...

あるクラスでのある日のこと。

Aさんは新しく入園してきたYさんと仲良くなりたくて、午後のおやつ時間にYさんの隣りに座りました。そして楽しい話で気をひこうと、Aさん自身が好きなアニメへの愛を熱く語りはじめました。

Aさん「ごくうはさあ、スーパーサイヤ人だからとても強くてカッコいいんだよ」

Yさん「……（無言）…そのアニメ知らないの」

Aさん（しばらく考えてから）「きょうりゅう好き？ ティラノサウルスがいちばん強いよ」

Yさん「こわいから、きょうりゅうは好きじゃない」

Aさん「やさしいのもあるよ、プラキオサウルスとか、くさを食べるんだよ」

Yさん「それもあまり好きじゃないの」

Aさん「うーん…」

（しばらく考えて）

Aさん「うんちは？ うんち好き？」

Yさん「ねえ！ 今食べてる時間でしょ！ その話はやめてくれる？」

Aさんが考えに考えて最後の切り札として出した、全ての民が食いつくはずのネタ、 ウンチの話は ちょっとタイミングが悪かったようです。

“ウンチ”、それは自らの体から生み出される 謎の物体。

赤ちゃんの時からそれを出すと喜ばれたり、心配されたりしてきた大切なもの。興味を示して当然ですね。

ある時 おひさま文庫に ※①「ずら〜りウンチならべてみると」 という科学絵本を置くと、早速翌日には 借し出されていました。

おひさま文庫には ウンチへの愛、知識を追求すべく本が並んでいます。ぜひ手に取ってみてください。

追記： AさんとYさんが一年後 2人で仲良く広げていたのは

※②「うんちしたのはだれよ！」 という絵本でした。

※①「ずら〜りウンチならべてみると」 アリス館

監修：小宮輝之 構成・文：西川寛 絵：友永たろ

※②「うんちしたのはだれよ！」 偕成社

作：ヴェルレーナ・ホルツヴァルト 絵：ヴォルフ・エーブルッフ

訳：関口 裕昭

・「うんちレストラン」 ポプラ社

写真：新開考 文：伊地知英信

・「みんなうんち」 福音館

作：五味 太郎



避難訓練の様子をお伝えします！



こちらは5月に行われた本園の避難訓練の様子です。例年、消防士さんの指導の下、職員による水消火器での実践訓練をします。ジャングルジムを火元という設定で「火事だー」「通報お願いします」「初期消火します」と子どもたちの前で行っています。見守る子どもたちの目の真剣です。「〇〇せんせい、がんばれ〜」「もう消えた〜？」と応援してくれます。



分園でも、毎月訓練を行っています。写真のように、建物から避難するためにバギーに乗って、安全な公園へ避難することもあります。慣れない防災頭巾やいつもと違う雰囲気泣いてしまう子どももありますが、保育者の抱っこで安心できるようにしています。



このように、いざという時のために大人も子どもも毎月訓練を行っています。安全計画に基づき、地震・火事・高潮・防犯訓練と様々な想定で実施しています。子どもたちも、防災ベルが鳴ると泣いていた1歳児クラスが2歳児になると保育者の話を聞こうと集まるようになり、幼児クラスでは自分の身を守る方法や散歩のペアを探し人数確認がすぐにできるよう協力しあうようになります。



9月

0歳児 つぼみ組

- ・ 保育者といっしょに身体を動かし好きなあそびを見つけて楽しむ。

1歳児 もも組・さくら組

- ・ 保育者や友だちと関わりながら歌ったり身体を動かして楽しむ。

2歳児 たんぽぽ組・すみれ組

- ・ 保育者や友だちと一緒に身体を動かしてあそぶ。

3歳児 ちゅうりっぷ組

- ・ 身のまわりのことを自分からしようとする。
- ・ 十分に身体を動かしてあそぶ。

4歳児 ばら組

- ・ 夏から秋への自然の変化に気づき、興味関心をもって関わろうとする。
(地域の高齢者と関わり、親しみの気持ちを持つ。)

5歳児 ゆり組

- ・ 友だちと共通の目的を持ち、考えを出し合いながら活動する。
- ・ 年下の友だちと生活、あそびを通し思いやりを持って関わる。